



1-6 LAC 特別講座②

3月6日(金)、3、4時間目、1-6の生徒たちが2月3日からの続きで、神戸女学院大学の中村先生による特別講座を受けました。

3時間目はTEDのスピーチ“Try something new for 30 days”をグループ内で分担して全体を翻訳しました。内容が難しく、とても苦勞していましたが、与えられた時間内ですべて終わっていたグループもありましたね。最後に先生が訳されたものを見せていただきました。



4時間目は実際に2種類の通訳にチャレンジしました！まず1人ずつ、逐語通訳の練習をしました。まとまった英語を聞いて、音声ストップしたところまでを訳す、という活動。思った以上にみんな上手にできていて驚きました。ここでのポイントは『聞こえてきた英語を、自分の頭の中でイメージ化する』ということでした。こうすることで、次々に英語が流れてきたとしても正確に情報を伝えることができるとおっしゃっていたので、これからのリスニングにぜひ活かして欲しいと思います。

次に同時通訳。これは、あらかじめ先生が通訳用に直された原稿を使って、挑戦しました。先生が直された原稿は、一度翻訳したものを「どんな人が、どんな人たちに対して」しているスピーチかを考えて、英語に合わせて語順を換える「順送り訳、頭ごなし訳」になっていました。



全員と一緒に TED の動画に合わせてその原稿を読み、英語の単語が聞こえたら少し遅れてそれに対応する日本語を入れていく、という同時通訳を体験しました。スピーチなどは事前に原稿を翻訳し、それをわかりやすく通訳用に直したものを読まれるとのことで、これは国連の各国首相の演説やニュースなどで用いられているようでした。

最後に、先生からメッセージをいただきました。

翻訳は読み手に、通訳は聞き手に伝えること

そのためには、相手に合わせて表現すること

相手に合わせて表現する力は、どこでどんなことをしていても活かせる



将来、翻訳、通訳のお仕事をする人がいるかはわかりませんが、英語を学んでいれば、仕事でなくても、通訳したり翻訳したりする機会がきっとあると思います。先生からのメッセージを忘れず、「相手に合わせて表現する力」を身につけていきましょう。